

# 建築学系（学士課程）

## アドミッション・ポリシー（入学者に求める能力と適性）

環境・社会理工学院学士課程では、人類と社会の持続的発展に貢献するために理工学的叡智に加えて人文社会科学的叡智を広く環境や社会に応用・展開して卓越した学術・技術を創生するとともに、高い知性と豊かな教養、国際的な広い視野と深い思考能力を備え、技術の専門家として社会で活躍できる人材を養成する。そこで、本学院では特に次の能力と適性を持つ人材を求めます。

- ・理数系分野に関する基本的概念や確実な基礎知識を持つ人
- ・学士課程の専門力を身につけるため必要となる基礎的な語学力を持つ人
- ・自らの能力向上のため主体的に理工学分野ならびに人文社会科学分野について学ぶ意欲を持つ人
- ・人類と社会の持続的発展に貢献しようという高い志を持つ人

建築学系では、次のような能力と適性をもつ人材を求めます。

- ・理数分野を中心として幅広い分野について十分な基礎学力を有し、柔軟かつ自由な発想、思考、創造ができること
- ・建築・都市・社会に興味を持ち、課題に果敢に挑戦する気概、専門科目を積極的に学ぶ努力を継続できること
- ・建築学の知見を活かし文明・文化の発展に貢献する品格を伴った志を有すること

## アドミッション・ポリシー（入学者選抜方針）

### 【一般選抜（前期日程）】《全学院共通》

求める能力と適性を有する人材を選抜するために、高等学校の段階の学力確認を行うとともに、本学で学ぶために必要となる、数学、物理、化学および英語に関わる基礎学力ならびにこれを応用する力、論理的な思考力を評価する試験を行います。

### 【総合型選抜】《環境・社会理工学院》

求める能力と適性を有する人材を選抜するために、以下の内容で試験を行います。

（A：造形課題， B：筆記・面接， C：面接のいずれかの試験を選択）

#### A：造形課題

高校数学Ⅲ程度までの数学を応用した建築に関連する形態の造形，スケッチおよび説明文を解答させ，建築・都市空間の創造力を評価します。

#### B：筆記・面接

国内外の社会や環境に関わる公共的な課題に対して，問題の所在を整理し，解決できる素養並びにその表現の能力を評価します。

#### C：面接

グローバル化する環境および社会的な問題に関する独自の見解について，面接による質疑応答を行い，論理的な思考力，表現力，対話によって思考を深める力を評価します。

※ 学士課程2年目の系所属の際に，環境・社会理工学院では，総合問題Aを受験し合格した者は建築学系に，総合問題Bを受験し合格した者は土木・環境工学系に，総合問題Cを受験し合格した者は融合理工学系に，それぞれ所属します。

# 建築学系（学士課程）

## カリキュラム・ポリシー（教育内容）

本系では、「ディプロマ・ポリシー（修得する能力）」を身につけるために、次のような内容の学修を行う。

### A) 建築学分野の専門基礎学修

必修科目による建築学基礎の学修，及び実験・演習・実習を介したそれら基礎理論の実践的学修。

### B) 建築学の応用学修

専門基礎科目に対応した必修科目である実験と，豊富な専門選択科目による理論の応用を学ぶ学修。

### C) 広い視野を養い，主体的に進める学修

社会と自然を正しく理解し，最新の工学・学術的知見を利用して未来の建築技術の創造に挑戦する構想力および研究・技術開発能力主体的に取り組む力をつける学修

### D) 社会との関わりを追体験する学修

社会で活躍する講師陣らによる，専門科目を通しての追体験学習や技術者倫理学修

### E) コミュニケーション能力の強化学修

国際的な視野から研究，創作，技術開発を進め，自分の意見を論理的に表現する必要な語学力，コミュニケーション能力を養成する学修。

## ディプロマ・ポリシー（修得する能力）

建築学系では，次のような能力を修得することを目指す。

- ・ 建築学に関わる研究，創作，技術開発に必要な専門学力と理工系基礎学力および論理的思考力
- ・ 俯瞰的な視点から新たな方向性を見出すために必要な幅広い教養
- ・ 研究，創作，技術開発における論理的な思考力，創造力，企画力，表現力
- ・ 倫理観をもって未知の世界に挑戦する力
- ・ 国際的な視野から研究，創作，技術開発を進めるために必要な語学力，コミュニケーション能力